

# 流行神

## 「はやりがみ」

佛教大学  
研究叢書41

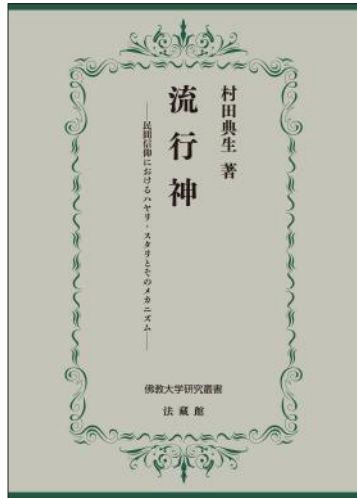
民間信仰におけるハヤリ・スタリとそのメカニズム

むらた のりお

村田典生 著

▼A5判・上製カバー・240頁・本体五、五〇〇円十税

2021年4月刊行



流行神はどのように現れるのか。  
近世から近現代に顕現したプロセス  
を、寺社、地域、参拝者、歴史や民間信  
仰との関係等から解明する。

### 【目次】

#### 序章

第一章 流行神研究史の回顧と課題

- 第一節 宮田登・伊藤唯真・桜井徳太郎
- 第二節 鈴木岩弓と宮田登
- 第三節 研究史から見える課題

第二章 流行りだす神仏―その構造と思想

- はじめに
- 第一節 民間信仰における流行神の位置づけ
- 第二節 流行神の構造
- 第三節 流行神の近世から近代、現代への展開
- 小括

第三章 近世「医療信仰」に見る流行神の展開過程

- はじめに
- 第一節 『月堂見聞集』における山科妙見
- 第二節 日親上人
- 第三節 山科妙見の流行り
- 小括

第四章 「金運」をめぐる流行神の顕現

- はじめに
- 第一節 御金神社
- 第二節 正法寺と三面大黒天
- 第三節 銭洗弁天
- 第四節 現代の流行神の特性
- 小括

第五章 「縁結び」から見える現代の流行神  
はじめに

第六章 民間信仰の盛衰の分岐についての考察

- はじめに
  - 第一節 願懸重宝記
  - 第二節 『京都神仏願懸重宝記』
  - 第三節 断絶を乗り越えた民間信仰
  - 第四節 京都の大規模神社における神仏分離と民間信仰
  - 第五節 洛中小社の神仏分離
  - 第六節 民間信仰の断絶と継続の分岐点
  - 小括
- 終章―神仏の流行と民間信仰継続のメカニズム  
初出一覧／参考文献一覧／あとがき／索引

#### ◆著者略歴

一九六七年、大阪府生まれ。一九九〇年、立命館大学経済学部卒業、二〇一三年、佛教大学大学院文学研究科博士後期課程（通信教育課程）修了。佛教大学非常勤講師。博士（文学）。  
おもな著書・論文に、『新・民俗学を学ぶ』（共著、二〇一三年、昭和堂）、『死と向き合う民俗信仰―流行神とぼつくり信仰―』（『現代社会における宗教の力』、二〇一八年、佛教大学総合研究所）など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
村田典生 著	法藏館
流行神	本体五、五〇〇円十税
―民間信仰におけるハヤリ・スタリとそのメカニズム―	ISBN: 978-4-8318-6270-9 C3039
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

民俗・宗教